

事業者温室効果ガス削減報告書概要(第一計画期間) 第2年度分

1 事業所の概要

事業者の名称	セイコーインスツル株式会社		
事業所の名称	仙台事業所		
事業所の所在地	宮城県仙台市青葉区上愛子字松原45-1		
主たる事業	電子部品・デバイス・電子回路製造業		
事業者の該当要件	○	条例第2条第5号イに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ロに該当する特定事業者	
		条例第2条第5号ハに該当する特定事業者	
		条例第15条第1項に該当する一般事業者	
温室効果ガス排出抑制のための基本方針	<p>セイコーインスツル(株)マイクロエナジー事業部は、自然豊かな宮城の郷・愛子を拠点に、小型エネルギーデバイスとその応用製品の生産・販売活動を通し、お客様の満足を実現するとともに地球環境との調和を目指します。</p> <p>1、法令、法規制ならびに、お客様の規定要求事項を遵守します。 2、環境汚染の防止、温室効果ガスの削減、生物多様性保全に努めます。 3、目的・目標を設定し、実施し、定期的にレビューし、システム及びパフォーマンスについて継続的な改善を行います。 4、グリーン調達、グリーン商品開発及びグリーンライフ活動を通し、社会に貢献します。 5、製品含有化学物質は規定要求を遵守するとともに、削減・代替を目指します。 6、教育・啓蒙活動を活発に行い、全員が自覚して行動する事を、目指します。</p>		

2 温室効果ガスの排出状況等

温室効果ガスの削減目標	基準年度	2019 年度	基準排出量	7,974 t-CO ₂	基準原単位	1.429
	目標年度	2022 年度	目標排出量	8,471 t-CO ₂	目標原単位	1.386
温室効果ガスの排出状況	第1年度	2020 年度	排出量	8,036 t-CO ₂	排出原単位	1.38
			削減率	-0.78 %	削減率	3.42 %
	排出量等の増減理由	排出量増加は、除塵室等の設備投資により増加した。原単位については、目標より大幅に削減できている。				
	第2年度	2021 年度	排出量	8,629 t-CO ₂	排出原単位	1.464
			削減率	-8.22 %	削減率	-2.45 %
	排出量等の増減理由	排出量増加は、コロナ禍から受注も回復し、工場稼働率が向上し増加した。原単位については、受注も増えたが、人員不足により原単位も増加した。				
	第3年度	2022 年度	排出量	t-CO ₂	排出原単位	
			削減率	%	削減率	%
排出量等の増減理由						

3 温室効果ガスの排出抑制に関する取組

基本対策の実施状況	基準年度	73 %	目標年度	92 %
	第1年度	77 %	実施状況の説明等	計画書に記載したとおりの対策が概ね実施できている。
	第2年度	81 %	実施状況の説明等	計画書に記載したとおりの対策が概ね実施できている。
	第3年度	%	実施状況の説明等	

選 択 対 策 の 実 施 状 況	項目		実施状況
	エネルギー使用量の見える化(前年度比較)		実施済
	デマンド管理		実施済
	窓の断熱性向上		実施済
	再生可能エネルギーの導入		実施済
	生産性管理		実施済
	エネルギー使用量の見える化(分計による課題発見)		実施済
	ボイラーの運転効率管理		実施済
	ボイラーの給水及びブローの管理		実施済
	蒸気トラップの管理		実施済
	外気冷房		実施済
	熱源設備 冷却水温度の適正管理		実施済
	熱源設備 冷却水の水質管理		実施済
	冷温水ポンプの回転数制御、自動流量制御		未実施
	圧縮空気系統の保全管理		実施済
	ポンプ、給水系統の保全管理		未実施
	ファン、ブロワ、給気系統の保全管理		未実施
そ の 他 の 対 策 の 実 施 状 況	項目	具体的な取組内容	実施状況
	環境マネジメントシステムの導入	環境マネジメントシステムとして「ISO14001:2015」を適用して活動を行っている。	実施済
	廃棄物削減対策の実施	事業系一般廃棄物の1%削減するため、不要物分別教育を実施している。	実施済
	グリーン調達の実施	直材・梱包材における禁止化学物質の非含有管理、及び、地球環境に配慮した物品の購入促進を目的とした活動を行っている。	実施済